

■鳥海青児 洋画家。日本の油彩画の一典型となる独自のマチエールを開発。日本画表装技術有し、墨跡は名品の迫力。

ちょうかいせいじ

教科書疑獄・1902＝ 神奈川県須賀村で、鳥海力蔵・あぐりの三男に生まれる。父の前妻の子と合わせ9人兄弟。本名正夫。

日露戦争終・1905＝ 3歳：

アラビヤ 創刊・ 1908＝ 6歳：須賀小学校に入学。直後に、父が死去。

大逆事件判決1911＝ 9歳：

明治天皇没・1912＝10歳：

第一次大戦始1914＝12歳：尋常科を卒業し、高等科に進む。

民本主義・・・1916＝14歳：私立藤嶺中学校が開校し、2年に編入学。

ロシア革命・1917＝15歳：赴任してきた美術学校卒業直後の美術教師の指導で、油彩画を描き始める。所宏と出会い、ともに岸田劉生を訪ねたり、原精一との親交始まる。

大暴落・・・1920＝18歳：卒業し、三高受験するも失敗し、

原敬首相暗殺1921＝19歳：関西大学予科に入学。

水平社結成・1922＝20歳：この頃流行していた姓名判断で、青児と改名後、予科修了し本科に進むも、授業にはほとんど出ず、寄席に通い、音楽部でマンドリン奏で、度々旅行。

関東大震災・1923＝21歳：所第1回春陽会入選を知り、応募を決意。三岸好太郎の知遇を得る。

護憲三派圧勝1924＝22歳：岸田劉生の感化をうけて草土社スタイルの土着的な作品を描き、

治安維持法・1925＝23歳：*第2回春陽会展に「洋女を配する図」「平塚風景」が初入選。春陽会若手で{麓人社}を結成し展覧会を開く。

円本時代始・1926＝24歳：第3回春陽会展に「酒場」ほかが入選。{麓人社}や湘南美術展あわせ多数出品。

金融恐慌・・・1927＝25歳：第4回春陽会展に4作出品後、卒業。直ちに上京し、本郷に落着く。

共産党事件・1928＝26歳：第5回春陽会展に「ざくろ」ほか出品。私淑していた萬鉄五郎が死去。

世界恐慌・・・1929＝27歳：三岸好太郎・節子・森田勝と札幌に滞在。_第6回春陽会展で「芦屋風景」「水無き川」が春陽会賞。

海軍軍縮条約1930＝28歳：岸田劉生が死去。_第7回春陽会展で「北海道風景」ほかが春陽会賞。

満州事変・・・1931＝29歳：_第8回春陽会展で「うづら」が入選後、渡欧し、パリを拠点に、アルジェリア旅行、

五一五事件・1932＝30歳：モロッコ旅行、*ゴヤを見るためマドリードに赴き、魅了されて画風を一変、「闘牛」を制作、

国際連盟脱退1933＝31歳：_イタリア諸都市を巡って、帰国。春陽会員となり、滞欧作23点を第11回春陽会に出品。

帝人疑獄事件1934＝32歳：三岸好太郎が死去。「川沿いの家」を制作。第12回春陽会展に多数出品。

芥川直木賞始1935＝33歳：大津絵の制作を始め、第13回春陽会展に油彩多数とあわせて出品。

二二六事件・1936＝34歳：第14回春陽会展に「信州の畠」「道化」ほか多数出品。鳥海青児新大津絵展開催。

日中戦争始・1937＝35歳：第15回春陽会展に多数出品。_春陽会員の作風にも影響を与えるようになる。

健保+総動員 1938＝36歳：第16回春陽会展に多数出品。陸軍報道班員として、久米正雄・山田耕筰・西條八十と、中国旅行、

第二次大戦始1939＝37歳：作家の美川きよと結婚し、麹町に居住。第17回春陽会展に多数出品。再び中国旅行、日本の古美術に対する

大政翼賛会・1940＝38歳：関心を深め、浮世絵蒐集を始め、鑑識眼の高い蒐集家としても知られるようになる。初めて沖縄旅行し、

日米開戦・・・1941＝39歳：「沖縄風景」を制作。第18回春陽会展に多数出品。大阪高島屋で、鳥海青児油絵個人展開催。

・・・・・1942＝40歳：第19回春陽会展に多数出品。原精一らと男鹿半島旅行。

創価学会検挙1943＝41歳：仏画に興味を抱き、表具の自装に熱中。_第20回春陽会展を最後に、

年金+総武装 1944＝42歳：退会して、独立美術協会会員に転じ、第13回独立展に出品。以後、没するまで、中心的存在として活躍。

敗戦・・・・1945＝43歳：第14回独立展に出品。母が死去。妻と樺太・北海道旅行。

新憲法公布・1946＝44歳：鎌倉に移住し、一時、伊勢原に疎開。

新憲法施行・1947＝45歳：読売新聞主催の第1回新興美術展に出品。今日出海らと弘前旅行。

極東裁判決・1948＝46歳：会津八一らの知己を得る。第15回独立展・第2回新興美術展に出品。

三大事件・・・1949＝47歳：第16回独立展二出品。

朝鮮戦争始・1950＝48歳：法隆寺金堂壁画焼失に衝撃を受ける。第17回独立展に6点出品。小林秀雄ら鎌倉の文人らと交友始まる。

独立回復・・・1951＝49歳：第18回独立展に出品。

メデー事件・1952＝50歳：「段々畠」の連作を始め、第19回独立展から出品、東京画廊オープンで鳥海青児個展、大阪梅田画廊でも。

TV放送始・・・1953＝51歳：東京飯倉片町に転居。独立展のほか秀作美術展・第1回日本国際美術展にも出品。続けて3展覧会に出品。

国連加盟・・・1956＝54歳：作庭に興味を抱き、ハリー・パッカードの知己を得る。_自らの作風に確信を持つようになり、

なべ底不況・1957＝55歳：2画廊で同時に個展開催。_独立展に「顔をかくす女」を出品し、芸術選奨文部大臣賞。

インストラマン・1958＝56歳：原とヨーロッパ旅行。*サンパウロ・ビエンナーレに出品の「かぼちゃ」がニューヨーク近代美術館収蔵。

美智子妃・・・1959＝57歳：文化財保護委員会審議委員。沖縄を再訪。_「ピカドール」の連作を行い、現代美術展で最優秀賞。

安保闘争・・・1960＝58歳：翌年にかけて、エジプト・中東・インド旅行。_毎日美術賞。

タイタイ病始・1961＝59歳：翌年にかけて、小野忠弘・三木淳と、中南米旅行するが、

TV宇宙中継始1963＝61歳：帰国後、体調を崩す。

東京オリンピック 1964＝62歳：中川一政を団長とする画家代表団の一員として、中国を訪問。

大学紛争始・1965＝63歳：ブリヂストン美術館が鳥海の記録映画を制作。「昼寝するメキシコ人」を制作。

いざなぎ景気1966＝64歳：神奈川県立近代美術館で回顧展。

震ヶ関ビル・1968＝66歳：{小説新潮}の表紙絵を1年間担当。

大阪万博・・・1970＝68歳：この間も、毎年独立展には出品し続け、

ドルショック・・・1971＝69歳：日本の巨匠20人展に出品。

日中国交回復1972＝70歳：画業五十年記念鳥海青児展が開かれ、第39回独立展を最後に、

肺炎のため、_没した。